

公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 治験審査委員会			
開催日時	2025 年 8 月 5 日（火） 16:30～16:55		
開催場所	WEB 会議システム（ZOOM）	報告者	上ノ山和弥
出席者名	吉川義顕、尾上雅英、前谷俊樹、中根英策、向井秀幸、三井克巳、竹内麻衣、大野千加子、 亀井智裕、石塚良子、鵜飼万貴子		
欠席者名	三宅麻文、中井康介		
【審議事項】			
議題 1	アッヴィ合同会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象とした第Ⅲ相試験（M14-533） 当該治験薬で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認		
議題 2	アストラゼネカ株式会社の依頼による好酸球増多症候群の患者を対象としたベンラリズマブの第Ⅲ相試験 治験薬概要書改訂について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認		
議題 3	ノバルティス ファーマ株式会社の依頼による IgA 腎症を対象とした LNP023 の第Ⅲ相継続投与試験 当該治験薬で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認		
議題 4	バイオジェン・ジャパン株式会社の依頼による全身性エリテマトーデス患者を対象とした BIIB059 の第Ⅲ相試験 当該治験薬で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認		
議題 5	サノフィ株式会社の依頼による再発性及び/又は難治性多発性骨髄腫患者を対象とした SAR650984 の第Ⅲ相試験 当該治験薬で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認		
議題 6	田辺三菱製薬による第Ⅰ/Ⅱ相試験 当該治験薬で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認		
議題 7	アストラゼネカ株式会社の依頼による心不全の発症リスクが高い患者を対象として baxdrostat とダパグリフロジンを 併用投与したときの心不全の新規発症及び心血管死のリスクを検討する第Ⅲ相試験 当該治験薬で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 治験薬概要書、同意説明文書改訂について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認		
議題 8	日本イーライリリー株式会社の依頼によるリポ蛋白(a)高値の方を対象とした LY3473329 の第Ⅲ相試験 治験実施の妥当性について審議した。 審議結果：「リポ蛋白(a)の高値に対する LY3473329(muvalaplin)の治験について（任意の事前検査）同意文書」を修正 の上、承認		
議題 9	ブリストル・マイヤーズスクイブ株式会社の依頼によるIgG4関連疾患患者を対象としたオベキセリマブの第3相試験 当該治験薬で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認		
議題 10	MSD株式会社の依頼による糖尿病黄斑浮腫患者を対象としたEYE103の第Ⅱ相／第Ⅲ相試験 当該治験薬で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 眼の画像提供に関する説明文書および同意文書・治験実施計画書 別紙2・被験者への支払い・予定される治験費用に ついて改訂について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認		
議題 11	アストラゼネカ株式会社の依頼による ASCVD の既往を有する患者又は ASCVD イベントの初発リスクが高い患者を対象 に、AZD0780 の主要心血管イベントに対する効果を評価する第Ⅲ相試験 治験に関するガイド バージョン番号：1.0 追加について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認		

議題 12 メドベイス・ジャパン株式会社（国内治験管理人）の依頼による免疫グロブリン A 腎症（IgAN）を有する被験者を対象として Atacicept の有効性及び安全性を評価する第 2b/3 相、複数パート、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照試験

当該治験薬で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

治験分担医師の削除、治験実施計画書の管理に関するレターの提出、治験実施計画書補遺 A の改訂、補遺 A 提出について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 13 （治験国内管理人）IQVIA サービスーズ ジャパン合同会社の依頼による EASi-HF - A Phase III double-blind, randomised, parallel-group superiority trial to evaluate efficacy and safety of the combined use of oral BI 690517 and empagliflozin compared with placebo and empagliflozin in participants with symptomatic heart failure (HF: NYHA II-IV) and left ventricular ejection fraction (LVEF) $\geq$ 40%EASi-HF - 左室駆出率（LVEF）が 40%以上の症候性心不全（HF：NYHA II～IV）患者を対象に、BI 690517 とエンパグリフロジンを併用経口投与したときの有効性及び安全性をプラセボ及びエンパグリフロジンと比較して評価する第 III 相、二重盲検、無作為化、並行群間比較、優越性検証試験

治験期間が 1 年を超えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

当該治験薬で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

治験実施計画書別紙の改訂について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 14 自ら治験を実施する者（耳鼻咽喉科・頭頸部外科：山口智也）の依頼による NPC-18 を用いた外耳道軟部組織再生療法に関する第Ⅲ相医師主導治験－多施設共同医師主導治験－

モニタリング報告書について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 15 自ら治験を実施する者（健康管理センター/腎臓内科：塚本達雄）の依頼によるネフローゼ型膜性腎症に対するリツキシマブ（遺伝子組換え）の有効性及び安全性を検証する多施設共同プラセボ対照無作為化二重盲検並行群間比較試験
治験実施計画書、同意説明文書改訂について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

当該治験薬で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

【報告事項】

以下の内容について報告された。

議題 1 2025 年 7 月度治験審査委員会の会議の概要

上記、内容を報告した。

2025 年 8 月治験審査委員会については、WEB 会議システム（ZOOM）にて審査された。

各委員は守秘義務を厳守して参加しており、委員会開始時・終了時に双方向通信が問題ない事を確認した。

以上